

戊戌仲秋書物庵

小桑寛題作

任物更取題

土門下也石橋く 落石居根於土 鳥深

きらら啼新場於山也絶此の所 箕山

風さしく増原の中此毛の東より 路一

姓捨のあり

麻は赤く小石付く ぬれ親小 姥石

多羅仙鶴の山やうらみ

行節

日暮り八葉丸 坐せり 路あり 山海

